



衆議院議員

自民党政調副会長 元農水・環境副大臣

小里やすひろ

おざと

後援会・自民党支部報
衆議院議員小里泰弘後援会
自民党鹿児島県第三選挙区支部
鹿児島事務所
鹿児島県薩摩川内市平佐1丁目10
TEL 0996-23-5888
FAX 0996-23-7111

決める。進める。結果を出す。地元 長島町と共に。
小里泰弘は、町・県と一体となって郷土の事業を力強く推進中です。

地域のために。小里やすひろのチャレンジ トピックス 2021

1.西回り自動車道 阿久根—川内間 予算を倍増、道の駅も着々と

昨年11月の川内側からの着工に続き、予算を倍増し、建設事業を加速化。「道の駅」建設計画も着々と推進中です。

【予算の推移】令和2年度 15億8千万円→令和3年度 33億3千万円(補正予算を含む)



西回り自動車道 川内側着工式で

2.北薩横断道路 宮之城道路事業化決定、阿久根—高尾野間も着工

「溝辺道路」の事業化に続き、令和3年度、「宮之城道路」(泊野—広瀬10km)の事業化が決定。「阿久根—高尾野道路」、「広瀬道路」も予算を大幅拡大して加速します。

【宮之城道路 総事業費】250億円

【広瀬道路事業費】令和2年度 22億円 → 令和3年度 40億円(補正予算含む)

【阿久根高尾野道路事業費】令和2年度 7億円 → 令和3年度18億円(補正予算含む)



葛輪漁港埋立工事着工式で

3.安全・安心 便利な港へ 漁港・漁場整備事業予算を確保、事業を推進

薄井地区:浮棧橋新設・防波堤機能診断

令和3年度事業費: 2億7000万円

葛輪地区:外防波堤新設・道路拡幅

令和3年度事業費: 1億5100万円

茅屋地区:防波堤新設

令和3年度事業費: 6000万円

弊串地区:道路嵩上げ・物揚場耐震化等

令和3年度事業費: 2億5800万円



豪雨災害視察で

4.豪雨災害に、早期の復旧へ奔走。激甚災害指定、アオサ被害も支援

令和2年7月の獅子島を中心とする豪雨災害に、小里泰弘は、現地視察を踏まえて「激甚災害指定」や農地・河川・道路の復旧予算の確保に奔走。アオサ被害も水産庁の事業で支援しました。

【復旧事業費計】10.3億円



県道長島宮之浦漁港線開通式で

5.地域の医療確保に。鷹巣診療所建設を林野庁の事業で支援

地域懸案の診療所建設に、農林水産副大臣として、地域産木材を利用した施設を助成する林野庁の補助事業を導入して支援。

6.鹿児島いずみ農協果実選果場建設を国の補助事業で推進

農水副大臣として建設を支援。令和2年11月完成

【全体事業費】約18億円



JAいずみ選果場完成式で

7.水産物輸出拠点モデル地区として 近代型ブリ加工施設新設へ

コロナ禍を契機に、養殖ブリの輸出を加速するべく、近代型の加工施設新設計画が、国と県が一体となって進められています。



赤潮被害に対応

<長島町と共に。近年の主な取り組み — 町・県・国一体となって>

- 長島文化ホール空調設備整備事業
- 東漁協保冷施設整備事業
- 柏谷海岸保全整備事業
- オレンジ鉄道存続支援
- 赤潮被害対策
- 県道長島宮之浦港線整備事業
- 各種農業基盤整備事業 等

地域の声が原動力。週末は地元(長島町)に帰り フル回転



おさかな祭り



ミニ集会で



被災地視察



消防出初式で

花に水、人に心。小里やすひろの歩み



■衆議院議員連続5期当選 皆様の地元の代議士として

- 昭和33年霧島町生まれ。
- 霧島中、鶴丸高、慶応大学
- 野村證券で生きた経済を学ぶ。
- 労働大臣秘書官、震災大臣秘書官、総務庁長官秘書官等務める。
- 平成17年衆議院議員初当選。以来、連続5期当選。
- 薩摩川内市隈之城町在住



衆議院本会議で

■災害と闘う

日本一の治水事業を実現 川内川・米ノ津川が恵みの川へと

平成18年の北薩豪雨災害を受けて、小里やすひろは、築堤、掘削、分水路、ダム再開発、かわまちづくりなど、技術の粋を尽くした「日本一の治水事業」を実現。暴れ川が穏やかな「恵みの川」へと変貌しつつあります。



谷垣財務大臣を現地に案内 (平成18年7月)

東日本大震災対策を主導

当選二期目、東日本大震災に際し、小里やすひろは、自民党震災対策プロジェクトチーム座長に抜てきされ、幾多の現場視察をふまえ、避難所対策から復旧対策まで577項目の対策を民主党政権に提案。その多くが実行されました。



被災地を視察(平成21年3月)

口蹄疫と闘う



豪雨災害対策に



鳥インフルエンザに

赤潮被害対策に



新燃岳噴火対策



台風被害対策に



■夢と希望の持てる農山漁村へ

自民党農林部会 部会長として 失われた農政を取り戻す

当選三期目、民主党から政権を奪還し、自民党の農政の責任者として農業予算を回復。「農地・水・環境保全向上対策」、「飼料米制度」、「畜産増頭対策」、「六次産業化」等、新農政の指針を示しました。



自民党農林部会を指揮 (平成24年12月～)

農業・農村、健保を守る TPP決議をリード

TPP交渉に際し小里やすひろは、安倍総理と正面から向き合い、農業重要五品目や健康保険制度など「国益を守る決議」を策定し現場や国益を守る切り札となりました。



予算委員会で安倍総理と討論(平成25年3月)

農水副大臣・衆議院農水委員長 -現場本位の農政を推進

中山間地農業、小規模農業対策、畜産対策...現場本位の農政を推進。



衆議院農林水産委員会で答弁 (平成30年9月～)

鳥獣被害対策に。ジビエ振興議員連盟を設立

ジビエ(鳥獣肉)利用振興議員連盟を設立。議連幹事長として推進。



ジビエ試食会で

■環境副大臣・内閣府副大臣 震災復興や原子力防災に



原子力防災訓練を指揮

環境国際会議を主催

■政権奪還の最前線に 党副幹事長として



予算委員会で(平成22年2月)

■コロナと闘う

小里やすひろは、コロナ対策チームメンバーとして現場や生活を支援する対策を推進。

- 持続化給付金
- 中小企業資金繰り支援
- 雇用調整助成金
- 学生支援緊急給付金
- 医療提供体制の充実・強化、医療関係者支援
- 子育て世代支援給付金
- 農林漁業者経営継続補助金
- 観光・飲食業需要喚起支援策
- ワクチン接種体制整備等



地域の皆さまと意見交換会 (令和2年4月)

■自民党国土交通部会長として

道路づくり、まちづくり、観光振興、防災...与党の責任者として先頭に立って推進。



国土交通部会を指揮 (令和元年9月～)

現在の主な役職

- ・自民党政調副会長
- ・自民党地方組織・議員総局長
- ・自民党道路調査会副会長
- ・自民党農林食料戦略調査会副会長
- ・東京一極集中打破議員連盟幹事長
- ・西回り自動車道建設推進議員連盟幹事長等

小里やすひろはこんな男

信条

花に水、人に心

スポーツ

剣道・野球

趣味

釣り、読書、政策

尊敬する人物

西郷隆盛

好きな食べ物

たまご、コロッケ

愛読書

西郷南州翁遺訓



小里やすひろの五つの全力

- ①新型コロナウイルス対策を推進しつつ、経済再生を確かなものにします。
- ②生涯安心できる医療・介護・年金・子育て制度を確立し、誰もが活躍できる人生100年社会を創ります。
- ③夢と希望の持てる農林漁業と観光を推進し、元気な地方を創生します。
- ④防災・交通・物流・通信インフラの整備で安全で豊かな暮らしを創ります。
- ⑤国際社会に貢献しつつ日本の平和と国益を守ります。



頼もしい人格者

小里 泰弘
連合後援会長
前薩摩川内市長
岩切 秀雄

「小里さんは、決して人を悪く言わず、引き受けたことは誠実に実現する。頼もしい人格者です」

